

2014年11月21日

岡山市長 大森 雅夫 様

日本共産党岡山市議団  
団長 河田 正一

## 2015（平成27）年度岡山市予算編成要求書

### —憲法を活かし、くらし・健康・安全・福祉最優先の岡山市を—

#### 重点項目

1. 国民健康保険について。
  - (1) 市の政策繰り入れを増やし、保険料を引き下げ、払える保険料にすること。
  - (2) 国庫負担の引き上げを求め、県に全国平均並みの補助金を求めること。
  
2. 子どもの医療費は中学校まで通院も窓口負担を無料にすること。
  
3. 保育は公的責任において充実させること。
  - (1) 保留児対策は、認可保育園の増設を中心に進めること。
  - (2) 幼保一体型認定こども園の推進をやめること。
  - (3) 安易な市立幼稚園、保育園の民営化をしないこと。
  - (4) 営利企業の参入をさせないこと。
  
4. 「学童保育条例」の実施にあたっては、児童の発達を保障するという理念を明確にし、施設基準、放課後子ども支援員の処遇の処遇や体制などの引き上げに努めること。
  - (1) 社会保険や雇用・労災保険に加入できるよう財政支援すること。
  - (2) 現在の運営体に対して、会計事務の軽減のための支援を行うこと。
  - (3) 将来、安定的な運営ができるよう非営利法人への移行を支援すること。
  
5. 市民の交通権を保障する全市的交通政策を早急に策定すること。
  - (1) 吉備線LRT化の検討にあたっては、地域振興策を踏まえたものにする。
  - (2) 路面電車の岡山駅構内乗り入れを検討するにあたっては、費用対効果を十分に検証すること。
  
6. 大型施設の建設は、慎重に検討すること。
  - (1) 大型コンベンション施設はやめること。
  - (2) シンフォニーホールの機能を充実させ、より活用すること。市民会館・文化ホールの建て替えに際しては、無駄な大ホールは作らないこと。
  
7. 官製ワーキングプアを生んでいる「多様な雇用形態」をやめ、正規職員での配置を行うこと。非正規職員について、常態化している1カ月間の雇止めを止めること。